

海星だより

第10号 平成17年2月15日発行 広島県立大崎海星高等学校

<http://www.osakikaisei-h.hiroshima-c.ed.jp/>

課題研究発表会開催

1月21日、1年間の研究成果を全校生徒の前で発表する『3年生課題研究発表会』が、文化センター（ホール神峰）で開催されました。この「課題研究」は、問題を解決する能力や自発的・創造的な学習態度を養う目的で設置され、発表を通してプレゼンテーション能力をつけるものです。発表会は今年で4回目を数え、発表内容・発表方法も年々質の高いものになっています。



食生活に関する発表



製作した4輪バギーの紹介

3年生対象防犯教室

1月21日、木江警察署生活安全課係長黒河さんを講師として招き、3年生を対象とした『防犯教室』が開かれました。この防犯教室は、多くの生徒が卒業後島外に出て一人暮らしをするため、卒業間近のこの時期に毎年行っているものです。

講演の内容は、ヤミ金融、薬物、振り込め詐欺などの事例を中心に、被害者にならないための対策について話されました。

講演を聞いた生徒からは「一人で悩まずに、まず相談することが重要で、『自分は大丈夫』という安易な考えはいけない、ということが分かった」という感想が聞かれました。



講演する黒河生活安全課係長

演題は『ひとり暮らしの生活に関わる注意』

トピクス（入賞報告）第29回近県書初め展入賞

さる1月5日に本校で行われた小中高新春書初め大会の参加者が出品した作品が、第29回近県書初め大会（中国新聞社 福山書道連盟主催）において入賞しました。入賞者は次の通り。

福山書道連盟賞	辰田美幸（大崎海星高校1年 大崎中出身）
”	恵良未来（東野小6年）
特選	檜山日和（中野小1年）
”	檜山優希（中野小4年）
”	渡辺愛美（東野小年）
”	西中史織（大崎中1年）
”	國広明子（大崎海星高校1年 大崎中出身） 道場で稽古に励む里本君

弓道三段合格

本校弓道部3年生、里本博光君（豊中出身）が先日行われた昇段審査で三段に合格しました。高校生が三段を取得することは極めて難しく、広島県でも今年度3人目ということです。里本君は「今後も弓道は続けていき、指導者としてもがんばりたい」と喜びを表していました。



Q. 海星高校はなくなるの？

先日ある地域の方から「海星高校は来年度の募集が最後になるって聞いたけど本当？」というような質問を受けました。思わず「誰がそんなこと言っているの？」と聞き返したくなりました。時々このような質問を聞きますが、おそらくこれは県教育委員会が再編整備基本計画の中で「1学年1クラスの学校は統廃合の検討を進めて行く」という考え方を示したことによるものと思われます。

確かに少子化が進み、本校は現在1学年1クラスであり、この再編基本計画による対象には当てはまっていますが、「本校の募集が来年度で最後」など根も葉もないことです。

島外の高校に通う生徒が多くいる実態からすれば、十分に地域の期待に沿える高校になっていないかもしれませんが、それでも毎年50%近くの地元中学生が来てくれています。



活躍中の卓球部

もし、本校がなくなったらどうなるでしょう？様々な理由で本校を望む中学生は、島外の高校に行くことを余儀なくされたり、あるいは高校に行くことすらできなくなるかもしれません。「実態が規則や制度をつくる」ということを考えれば、島外の高校に通う（通える）実態を作れば作るほど、本校はなくてもいいものになってしまいます。そうならないためにも本校は地域に信頼される学校となるよう頑張っているところなのです。